

船橋市公共施設等総合管理計画の基本方針（案）

船橋市の公共施設を取り巻く現状について、説明いたします。

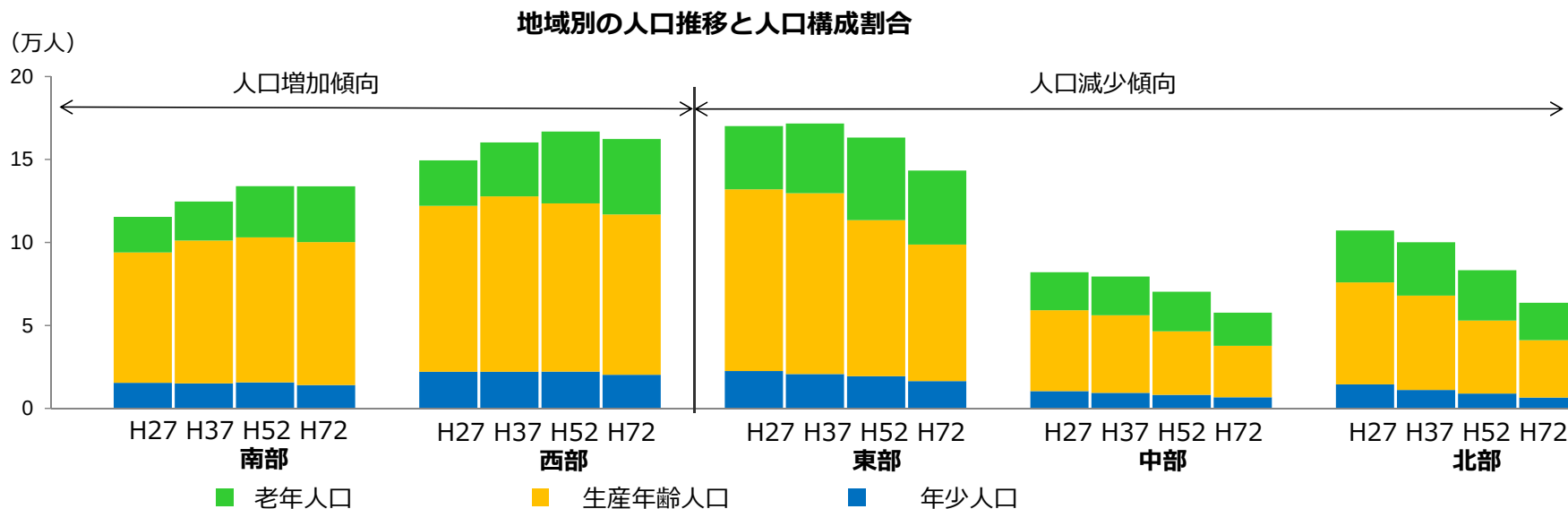
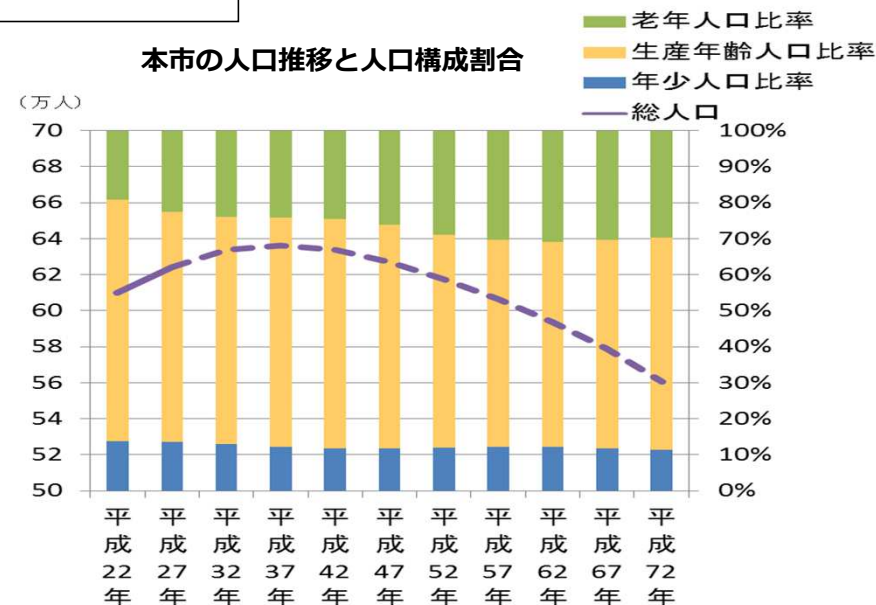
1 人口の減少とともに人口構成が大きく変化します

現在、本市ではゆるやかに人口が増加していますが、右グラフに示されているように、今後人口は減少段階に入ることが見込まれます。

また、人口構成に着目すると、老年人口比率が増加する一方で生産年齢人口比率（15歳～64歳人口）は減少することが見込まれます。

また、下グラフでは南部・西部地域では人口が増加していく一方、北部・中部・東部地域では、人口減少することが見込まれます。

こうした人口の規模や人口構成の変化は、公共施設に対するニーズや利用方法にも大きな影響を与えるものと考えています。



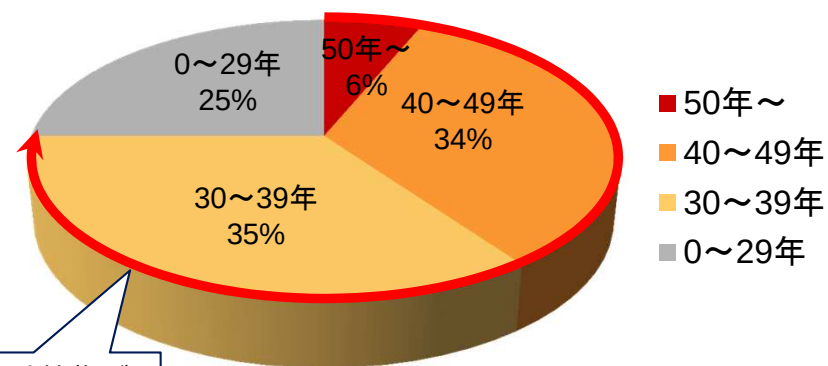
2 公共施設の老朽化が進行しています

本市が保有する公共施設の多くは、昭和40年代から昭和50年代に集中して建設されており、今後一斉に更新時期を迎えることとなります。

現状で約75%の建築物が建設から30年以上を経過しており、建替え(下グラフのオレンジ色部分)のピークは平成44年(2032年)から平成60年(2048年)になる見込みです。

これらの建築物の建替えや改修をすべて実施するとすれば、多額の費用が必要となります。

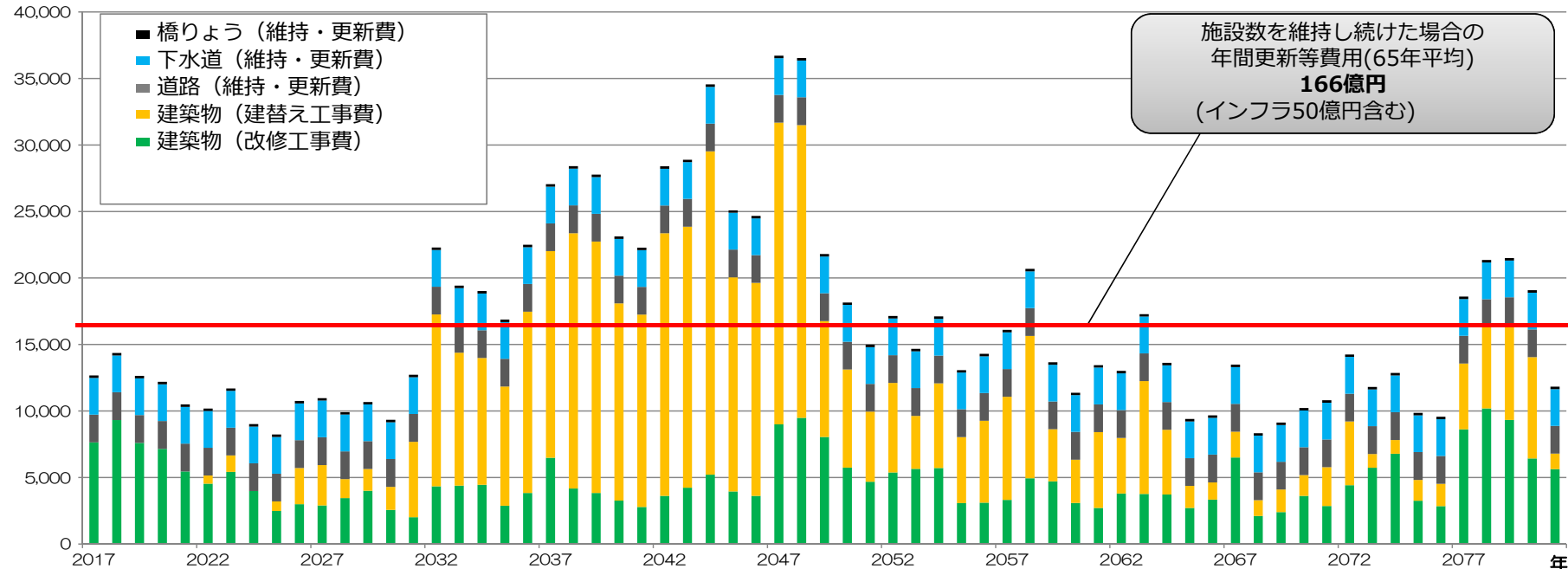
建築物の年別の整備状況



約75%の建築物が築30年以上

百万円

更新費等シミュレーション



※築後65年で現有施設を同規模で建替えを実施した場合

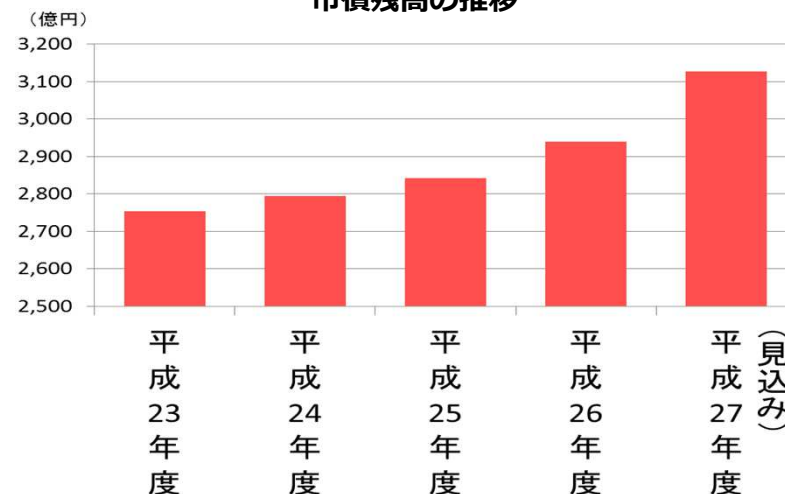
3 財政状況が厳しくなることが予想されます

本市の市債※残高は年々増加しており、今後も増加していくことが見込まれます。市債残高の増加により年ごとの返済額が増加することとなりますが、取り組むべき課題として待機児童対策や地域包括ケアシステムによる高齢者支援、清掃工場の建替え等があります。

このように、行政サービスが多様化していく中、当てられる財源は限られており、その中で多くの行政サービスを行う必要があることから、今後、財政状況がより厳しくなることが予想されます。

※市債とは、公共施設の整備などの資金を借入れ、複数年で返済するものです。

市債残高の推移



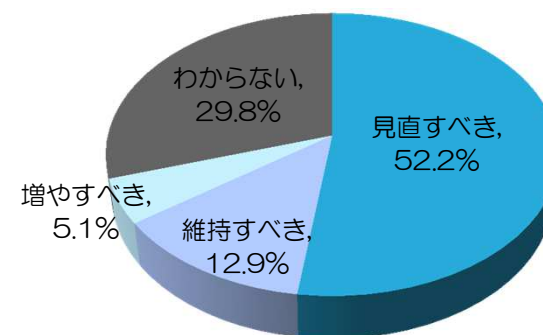
市民アンケートでの今後の公共施設のあり方についての回答結果を説明いたします。

4 市民アンケートの回答結果

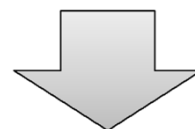
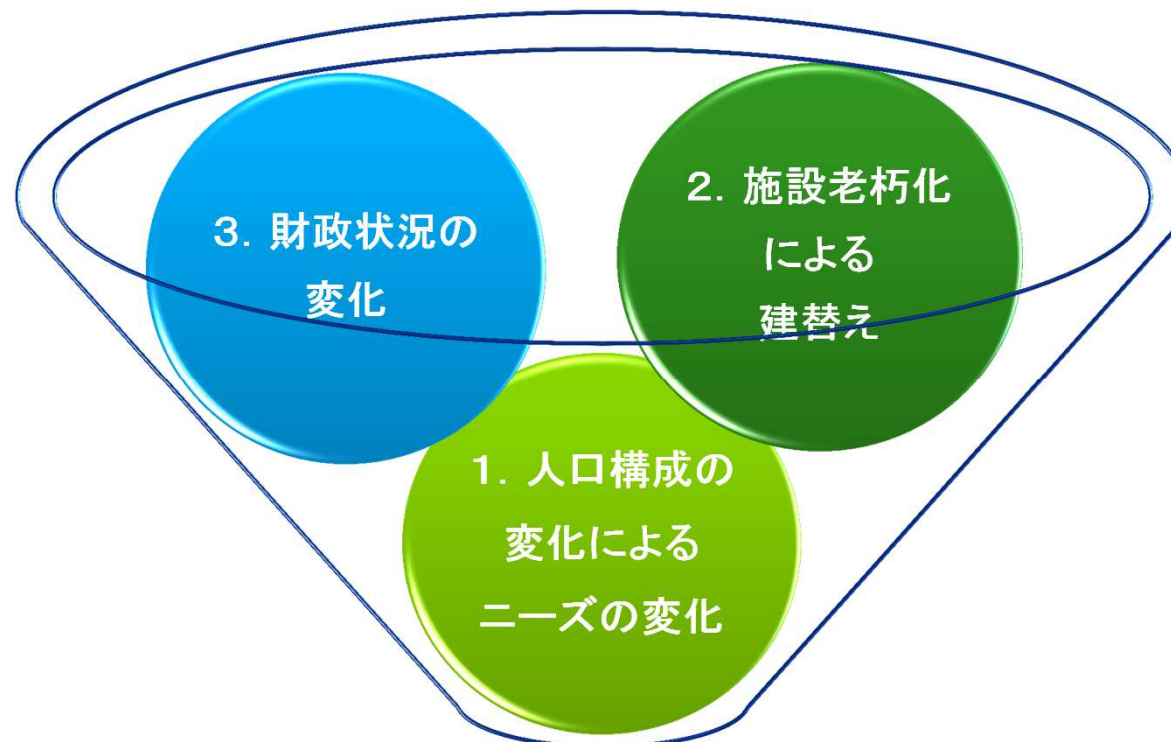
将来の人口構成や厳しい財政状況が予想されるなか、市民の方にアンケートを行いました。その結果、将来の人口構成や財政状況などの変化を見据え、施設総量や維持管理方法などを見直すべきという回答が半数以上の52.2%となり、現状の公共施設の数を持続し続けるべきや増やすべきという回答より、大きく上回りました。

※市内在住の18歳以上の男女3,000人を無作為抽出し、1,200名の方から回答を頂きました。(平成28年1月実施)

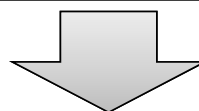
【今後の施設総量や維持管理方法について】



5 現状の課題を整理します



持続可能な施設運営



船橋市公共施設等総合管理計画 基本方針(案)

① 公共施設等の最適な配置

- i. 地域により二極化する人口動態を踏まえて、新規施設整備ならびに統廃合・転用等、施設総量の最適化を検討する。
- ii. 将来の人口動態を踏まえて、人口が増加する時期（0～10年後）、人口減少の時期（11～20年後）、人口減少が加速する時期（21～43年後）ごとに、最適な配置と施設総量の最適化を検討する。

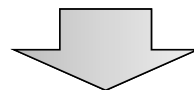
② 安全安心な公共施設等の整備

- i. 今後一斉に建替え時期を迎える施設や、老朽化対策の遅れている施設に対して、予防保全や長寿命化を推進していく。
- ii. すでに作成されている保全計画や各長寿命化計画を基本とした整備を推進していく。

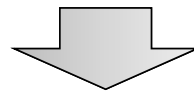
7 基本方針（案）策定後の予定を説明いたします

公共施設等総合管理計画策定の流れ

基本方針(案)をもとに、施設類型ごとの方針(案)を策定



公共施設等総合管理計画策定前に
市民の皆様からの意見聴取
(パブリックコメント)



計画策定完了(平成28年度中策定予定)